

定例公安委員会の開催状況について

令和6年2月8日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 令和5年中のクマの出没に伴う、人的被害の発生状況等について

令和5年中のクマの出没に伴う人的被害の発生状況等について報告があった。

委員から、市街地にクマが出没した際に、被害を未然に防止する対策を自治体等と連携して考えていく必要があるのではないか旨の発言があった。

委員から、温暖化や生態系の変化により、クマの出没件数が増加していることから、人命を最優先に考えて、事案発生を想定した訓練をしっかりとやってほしい旨の発言があった。

生活安全部長から、警察署では、自治体や猟友会と情報共有しており、今後も人的被害防止のため連携してまいりたい旨の発言があった。

(2) 広域にわたる窃盗、倉庫荒らし事件の検挙について

広域にわたる窃盗、倉庫荒らし事件の検挙について報告があった。

委員から、非常に早い解決であり、早期解決が県民の安全安心につながる旨の発言があった。

委員から、各県と早い段階で情報共有したことにより、犯人逮捕につながった好事例であることから、粘り強い捜査手法について、次の世代に伝承していただきたい旨の発言があった。

(3) 経済安全保障等に関する取組について

経済安全保障等に関する取組について報告があった。

委員から、外国企業が、出資や共同開発を名目に企業に接触してくるといふこととか、警察でそのような情報をあらかじめ把握しているのか旨の質問があった。

警備部長から、経済産業省のホームページにそのような企業や、外国機関等が掲載されており、日本の技術を収集するための他国の政策である旨の説明があった。

委員から、山形県は農業や観光産業に加え、東北でも屈指の製造業が盛んな県であり、守るべき貴重なものがあると思うので、現在行っている地域の勉強会等においてその重要性を説明していくとともに、関係機関と連携して総合的に対応していただきたい旨の発言があった。

警備部長から、警察庁と連携して、企業の状況を調査の上、対応している旨の説明があった。

委員から、経済安全保障に関する重要性や危険性を認識していない企業も多いので、アウトリーチ活動を継続していただきたい旨の発言があった。

本部長から、企業において、経済安全保障に関する気付きにさせていただくことが大切と考えており、引き続き、警察から必要な情報を共有することにより、経済安全保障に関する気付きとしていただくよう、各先端企業等に対して働きかけてまいりたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

- 援助の要求について
警察本部から、令和6年能登半島地震に係わる援助要求について説明を受け、部隊の派遣を同意決定した。
- 審査請求の決裁について
警察本部から、審査請求の決裁について説明を受け、決定した。
- 公安委員会決定について
警察本部から、援助要求に係わる意思決定手続に関する公安委員会決定の発出について説明を受け、決定した。
- 人事異動関係報告
警察本部から、人事異動関係について報告があった。
- 監察関係報告
警察本部から、監察関係について報告があった。
- 運転免許行政処分関係説明
警察本部から、運転免許の行政処分軽減措置について説明があった。
- 業績評価関係説明
警察本部から、業績評価関係について説明があった。